

猛暑は災害

熱中症は命の危機

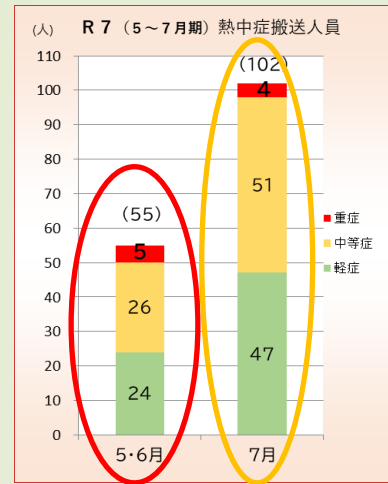
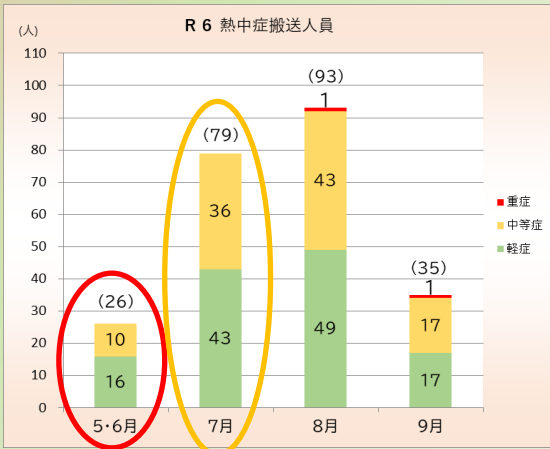
緊急
事態

！ 熱中症搬送・重症者が増加しています

東広島市消防局管内における熱中症による救急搬送人員が、令和7年5月～7月期の速報値で**157人**となり、5月～7月期における過去最多を更新しました。

年間統計上、過去最多であった令和6年の同時期から**1.5倍**となる急激な増加となっています。

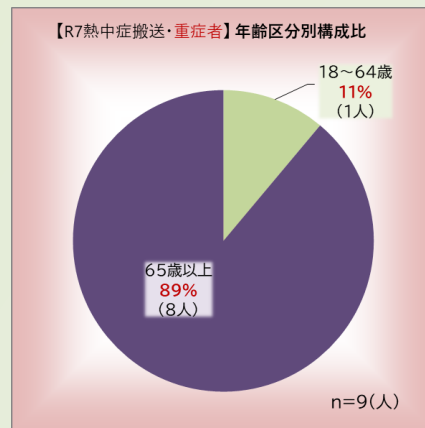
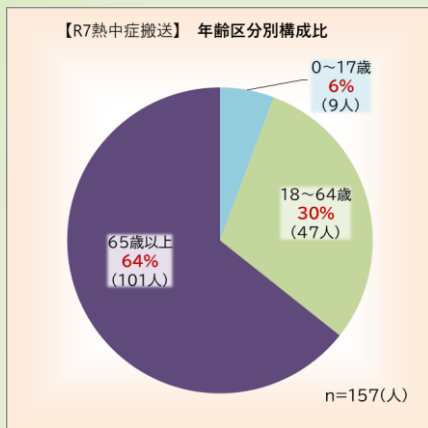
また、令和6年の年間を通じての発生が2人であった**重症傷病者**が、5月～7月期だけで**9人**発生している状況です。



！ 高齢者の搬送が多くなっています

搬送された傷病者のうち、**65歳以上の高齢者**が最も多く**64%**を占めています。

重症者においては、**9人中8人が高齢者**となっています。



！！ 安全対策

特に高齢者は「暑さや喉の渇きを感じにくい」といった生理的特徴があり、室温管理や水分補給が後手に回る傾向があります。部屋の温度に注意し、こまめな水分補給をお願いします。



！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

● 東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)

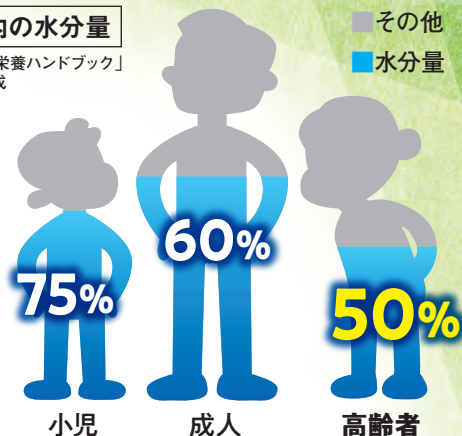
※計39人(速報値)のうち

約8割は65歳以上の高齢者

屋内での死亡者のうち 約9割は
エアコンを使用していなかった

体内の水分量

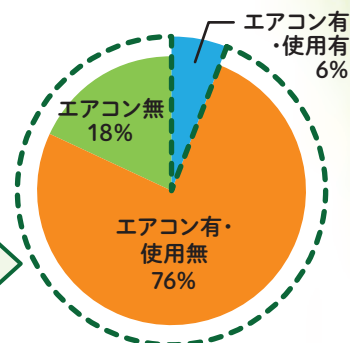
「輸液・栄養ハンドブック」
より作成



エアコン設置有無・
使用状況別

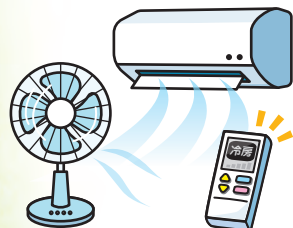
出典：東京都監察医務院

■ エアコン有 + 使用有
■ エアコン有 + 使用無
■ エアコン無

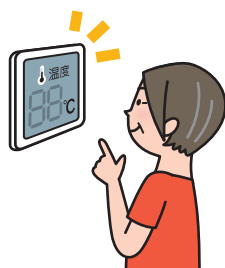


☑ 予防法ができているかをチェックしましょう

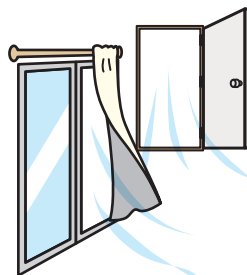
☐ エアコン・
扇風機を上手に
使用している



☐ 部屋の温度を
測っている



☐ 部屋の風通しを
良くしている



☐ こまめに
水分・塩分を補給
している



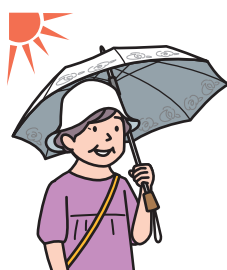
☐ シャワーや
タオルで体を
冷やす



☐ 暑い時は
無理をしない



☐ 涼しい服装をしている
外出時には日傘、帽子



☐ 涼しい場所・
施設を利用する



☐ 緊急時・困った
時の連絡先を
確認している



熱中症予防情報サイト

環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック! ▶▶ <https://www.wbgt.env.go.jp/>

環境省では、暑さ指数(WBGT)の情報提供を行っております。令和3年度より全国展開している熱中症警戒アラートおよび、暑さ指数のメール配信等をご活用ください。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます ➡



友達追加はこちら